

会社概要

商号	株式会社札幌ドーム
所在地	札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
代表者	代表取締役社長 瀬戸 武
設立	平成10年10月1日
資本金	10億円
売上高	35億3,600万円(2007年3月期)
従業員	68名(2008年5月現在)
事業内容	札幌ドームの管理運営業務全般 [地方自治法及び札幌ドーム条例の規定に基づく札幌ドーム指定管理者] 1.貸館事業(アリーナ・諸室等のイベント利用への貸出及びイベント運営サポート) 2.商業事業(ドーム内の飲食物販事業の管理運営) 3.観光事業(ドーム展望台及びドーム見学ツアーの運営) 4.市民利用事業(草野球、サッカー練習場及びトレーニング室の利用管理) 5.広告事業(ドーム内広告看板の販売管理) 6.チケット事業(各種イベントのチケット販売管理)
株主	札幌市(55%)、札幌商工会議所、北海道電力(株)、北海道瓦斯(株)、(株)北海道新聞社、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、サッポロビール(株)、(株)プリンスホテル、(株)竹中工務店、大成建設(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)電通、(株)電通北海道、(株)大広、東日本電信電話(株)、近畿日本ツーリスト(株)、(株)NTT東日本一北海道、エヌ・ティ・ティ北海道テレマート(株)、北海道キリンビバレッジ(株)、北海道ペプシコーラ販売(株)、(株)JTB北海道、(株)JTB商事、北海道放送(株)、札幌テレビ放送(株)、北海道テレビ放送(株)、北海道文化放送(株)

<http://www.sapporo-dome.co.jp>



株式会社 **札幌ドーム**
〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 TEL011-850-1000(代) FAX011-850-1011

資源と環境の保護を考え、本紙には適切な森林管理の下で生産された木材を使用して作られた「森林認証紙」を使用しています。インクは大豆油インクを使用しています。

※2008年5月現在の資料をもとに作成しています。内容は変更になる場合があります。

札幌ドーム ECO MOTION
ひとりひとりがエコプレイヤー

札幌ドーム「社会と環境への取り組み」



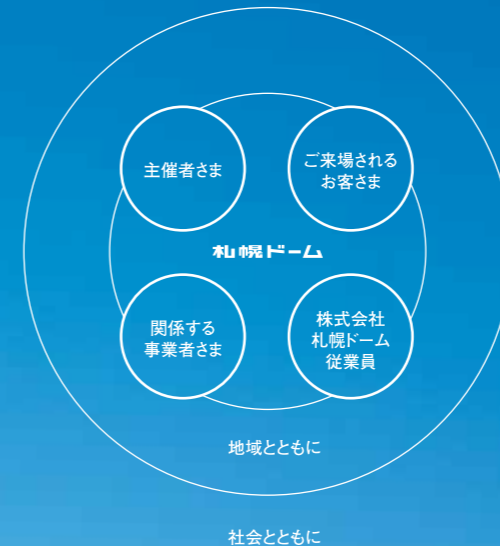
ひとりひとりがエコプレイヤー
SAPPORO DOME

私たちは、現在進行している地球温暖化や資源枯渇など環境の悪化を止め改善する、という企業としての責任を社会に対して果たさなければなりません。そのためには、札幌ドームが環境に与える影響を正しく理解し解決に向かって行動することが急務です。札幌ドームは夢と希望を提供するスポーツ・文化の発信拠点であり公の施設でもあります。感動を通して豊かな心を育むとともに環境に配慮した豊かな社会づくりの両立を図ることも使命のひとつです。非日常的なエンターテインメントを楽しむ場であるとともに日常の環境問題にも目を向ける責任のある場であると認識しています。

そして環境問題の解決に向けて、施設の運用面、設備改良の技術面、関係するすべての方の意識面などのイノベーションを本質的なものから着実に進める必要があります。そのために札幌ドーム従業員、ご利用いただく主催者のみなさま、ご来場されるお客さま、お取引関係にある事業者のみなさまとともに、環境に配慮することに積極的に取り組んでまいります。

私たちは、札幌ドームが「環境に配慮する施設」としてみなさまから理解され、みなさまとともに環境について考え行動する場として、これからの豊かで住みやすい社会づくりの実現を目指して貢献してまいります。

株式会社 札幌ドーム 代表取締役社長 瀬戸 武



【経営理念】 Our Mission, Value, Vision

私たちはエンターテインメントビジネスを通して、常に最高のホスピタリティを追求し、すべてのお客さまの夢と感動を実現するステージを創造します

【行動指針】 Guiding Principles

- すべてはお客さまのために
- ・視野を広く、発想豊かに新たな価値を創造します
 - ・思いを一つに、ともに楽しみ、喜びを共有します
 - ・高い理想を掲げ、責任と誇りをもって行動します
- 私たち一人ひとりが札幌ドームです

札幌ドームは、野球とサッカー 2つのプロチームの本拠地となっている世界で唯一のスタジアムです。

2001年。札幌ドームは、北海道最大、日本最北の全天候型ドームとして誕生しました。屋外の良好な環境で育てた天然芝の「ホヴァリングサッカーステージ」が空気圧によって浮上し、屋内・外を移動する世界初のシステムの採用で、サッカーと野球どちらの開催も可能にしました。オープン当初より、Jリーグプロサッカークラブ「コンサドーレ札幌」のホームスタジアムとして親しまれ、2004年には「北海道日本ハムファイターズ」を迎え入れてプロ野球球団のホームスタジアムにもなり、世界で唯一、サッカーと野球2つのプロチームの本拠地となっています。コンサートやエキシビジョンなど多様なイベントも開催し、スポーツ・文化の発信拠点として多くの夢と感動を生んでいます。



エコプレイヤー宣言

<p>エコプレイヤー宣言</p> <p>わたしのエコプレイヤー宣言 いつまでも青空の下でスポーツが楽しめるよう自然環境を守ります。</p> <p>コンサドーレ札幌 ④ 曾田 雄志 選手</p>	<p>エコプレイヤー宣言</p> <p>わたしのエコプレイヤー宣言 サッカーを通して健康と環境にやさしいライフスタイルを実践します。</p> <p>コンサドーレ札幌 ⑨ 石井 謙伍 選手</p>	<p>エコプレイヤー宣言</p> <p>わたしのエコプレイヤー宣言 温暖化ストップ。環境への取り組みもファイターズはサミットを目指します。</p> <p>北海道日本ハムファイターズ ⑧ 梨田 昌孝 監督</p>	<p>エコプレイヤー宣言</p> <p>わたしのエコプレイヤー宣言 攻守交代は常に全力疾走。試合のスピードアップに貢献します。</p> <p>北海道日本ハムファイターズ ④ 稲葉 篤紀 選手</p>
---	--	--	--

札幌ドームでは、イベントに関わるひとりひとりが「エコプレイヤー」。お客さま、札幌ドームを本拠地とするプロチームの選手、主催者、業務委託会社の皆さまとともに、環境について考え、行動する場を目指しています。

「エコプレイヤー宣言」はお客さま、コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズの両球団と監督、選手ならびに札幌ドーム業務委託会社の皆様のご協力のもと制作しております。

<p>エコプレイヤー宣言</p> <p>わたしのエコプレイヤー宣言 いつでも、どこでも、ごみは「最小限・コンパクト」を心がけます。</p>	<p>エコプレイヤー宣言</p> <p>わたしのエコプレイヤー宣言 ビールを飲んだあとの紙カップは、リサイクルして別の形で使える環境をつくります。</p>	<p>エコプレイヤー宣言</p> <p>わたしのエコプレイヤー宣言 札幌ドームで使うエネルギーを削減するため、省エネ業務に最大限努めます。</p>	<p>エコプレイヤー宣言</p> <p>わたしのエコプレイヤー宣言 巡回警備の時にエレベーターの使用を控え階段を使います。</p>	<p>エコプレイヤー宣言</p> <p>わたしのエコプレイヤー宣言 お風呂でつかったお湯を洗たくに使用します。</p>
--	--	--	--	--

札幌ドームでは、イベントに関わるひとりひとりが「エコプレイヤー」。お客さま、札幌ドームを本拠地とするプロチームの選手、主催者、業務委託会社の皆さまとともに、環境について考え、行動する場を目指しています。

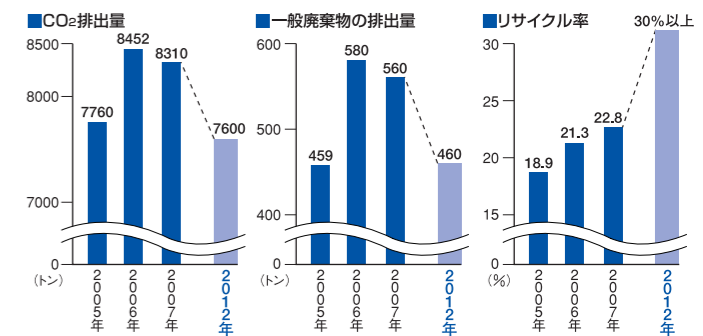
「エコプレイヤー宣言」はお客さま、コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズの両球団と監督、選手ならびに札幌ドーム業務委託会社の皆様のご協力のもと制作しております。

【環境目標】

札幌ドームの環境数値目標は「10・20・30」です。

- CO₂排出量を2006年度より**10%削減**します。
- 一般廃棄物の排出量を2006年度より**20%削減**します。
- リサイクル率を**30%以上**にします。

上記すべての数値目標を2012年度までに達成します。



■ 札幌ドーム 環境コンセプト

札幌ドーム ECO MOTION
～ひとりひとりがエコプレイヤー～

■ 札幌ドーム 環境シンボルマーク



「環境」へのさまざまな取り組みを行っています

イベント時の取り組み

札幌ドームでは、サッカーや野球の試合開催時で4万人以上、コンサート開催時には5万人を超えるお客さまを一度にお迎えします。このイベント時のお客さまひとりひとりにもご協力をいただきながら、環境にやさしい施設を目指してさまざまな取り組みを進めています。



ごみの分別回収とリサイクルの推進

分別ごみ箱を設置してお客さまにごみの分別をお願いし、飲料用紙カップや紙トレイ・弁当外箱などをトイレトーパーなどの原料に再資源化しています。



「バイオマスプラスチック」製カップの導入

各種ドリンク販売用に使用されるクリアカップに、どうもろしのデンプンを原料にした「バイオマスプラスチック」製カップを導入しています。



売店のレジ袋削減を進めています

コンコース売店・ワゴン売店では2007年2月より原則としてレジ袋をお渡しせず、必要なお客さまにのみお渡しすることでレジ袋削減を進めています。



「マイお買い物袋」8万枚を配布

2007年シーズンに札幌ドームで開催された北海道日本ハムファイターズ戦のうち3試合で、計8万枚の「マイお買い物袋（エコバッグ）」を配布しました。



飲食売店の野菜くずを堆肥化

飲食売店などで調理に使った野菜くずなどを回収し、生ごみ処理機を利用して堆肥化。でき上がった堆肥は、札幌ドームの植栽に利用しています。

非イベント時の取り組み

イベント開催がない時にも、札幌ドームの裏側を見学できるドームツアーやショッピング、グルメなどを楽しみにお客さまが来場されます。使用状況などに応じ、適切な環境への取り組みを日々、続けています。



省エネ型の設備を積極的に導入

省エネルギー型の給湯機「エコキュート」、効率の良い「換気ファンインバータ」の導入のほか、空調省エネ制御システムも導入しました。



省エネを考えて照明モードを切り替え

イベント、市民の草野球利用、ドームツアー、清掃など、それぞれの使用状況に適した照明モードを選択して省エネルギーに努めています。



イルミネーションにグリーン電力を採用

2007～2008年の冬期間、札幌ドームを彩ったイルミネーションの電力として、風力発電などの自然エネルギーを利用したグリーン電力を採用しました。



芝ごみの分別で埋め立て廃棄物量を削減

芝の更新作業で発生する芝と砂が混じったごみを分離して、砂を敷地内の植栽に再利用することで、埋め立て廃棄物の量を大幅に削減しています。

備品購入や広報活動での取り組み

■各種印刷物の印刷用紙を変更

チケットケースや広報誌などの印刷用紙を、適切な森林管理の下で生産された木材を使用して作られた「森林認証紙」等に変更しました。

■グリーン購入・エコマーク商品などの購入を促進

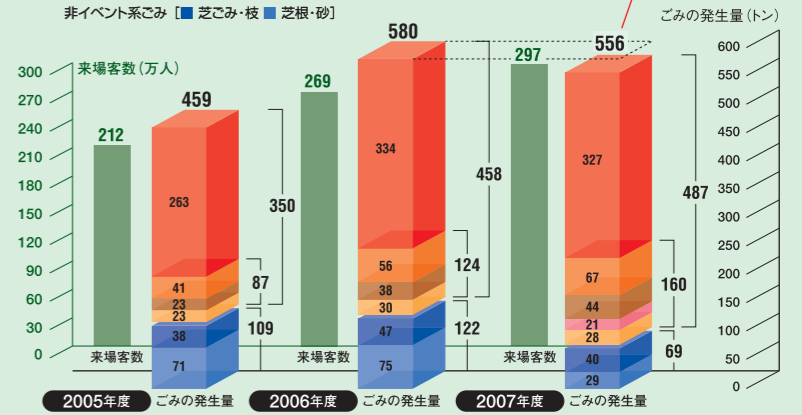
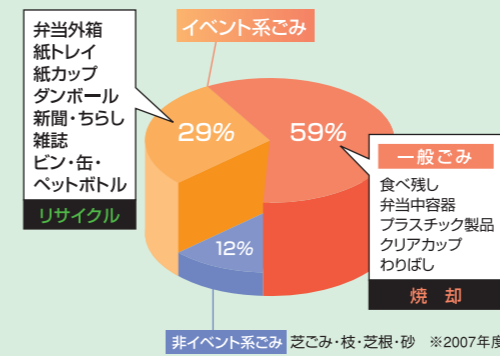
事務用品および敷地内で使用するイベント用の備品などについて、可能な限り環境負荷の低減に役立つ商品を積極的に購入しています。

紙カップ、紙トレイなどのリサイクルで焼却ごみを減らす努力をしています

札幌ドームのごみの約88%は、イベント時に発生しています。2006年度まで一般ごみとして焼却していた紙カップ、紙トレイ、弁当外箱の回収を2007年度より始め、リサイクルすることで焼却ごみを減らしています。

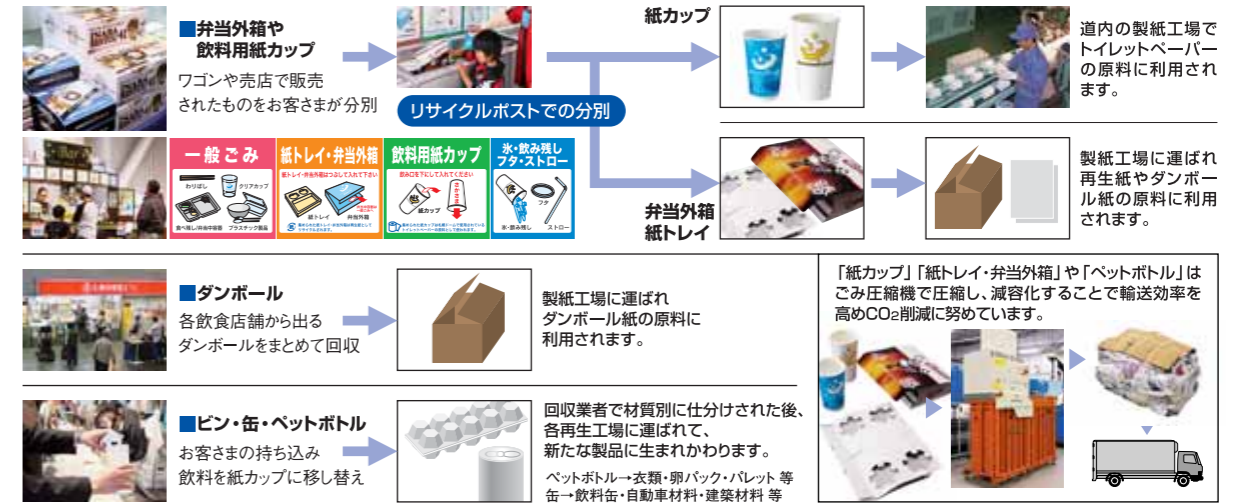
■札幌ドームのごみの発生量の推移

凡例 イベント系ごみ ■ 一般ごみ
■ ダンボール ■ 新聞・チラシ・雑誌 ■ 紙カップ・紙トレイ・弁当外箱
■ ビン・缶・ペットボトル
非イベント系ごみ ■ 芝ごみ・枝 ■ 芝根・砂

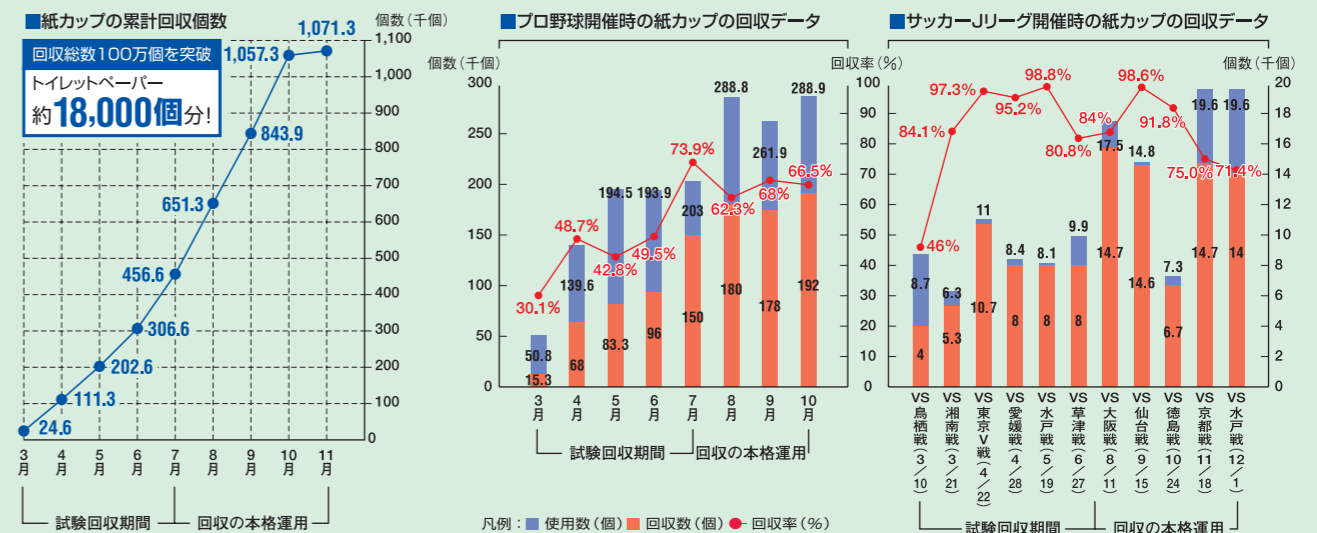


2006年度と比べ「一般ごみ」は2.1%減!

ごみの分別回収とリサイクルの流れ



ごみのリサイクルに関する回収データ (2007年)



施設・設備に環境にやさしい技術を活用しています

札幌ドームの設計テーマは、空、空気、風。ガーディング(庭造り)の手法で、「森に抱かれたスポーツの庭」を目指して敷地全体が設計されています。敷地内には8,000本の植樹を行い、これらの木々が大きく育っていくことで、人工的な雰囲気が残る駐車場なども緑に包まれ、より自然と調和した環境へと成長していきます。また、施設・設備には、環境にやさしい技術や工夫を数多く導入し、活用しています。



半地下構造で断熱性を高めています

アリーナの大部分が土に囲まれた半地下構造のため、建物全体の断熱性が高まり、冷暖房用のエネルギー消費を抑えることができます。さらに、ドーム壁面の高さが低くなっていることで、いわゆるビル風を

積雪に対応した屋根形状

ゆるやかな丸みを帯びた落雪しやすい形状の屋根とステンレス製の着雪しにくい屋根葺き材、冬期間の季節風による吹き払い効果で、大きな雪塊となる前に屋根に積もった雪が下に落ちます。

自然採光を積極的に利用

壁面の多くがガラス面で、天井にも丸型の天窗(トップライト)を設けています。非イベント時は自然の光を積極的に取り入れることで、照明の点灯数・時間を最小限に抑えています。

自然換気でエネルギーを抑制

天井の開閉式パネルと、オープンアリーナ・屋内アリーナを仕切る開閉式扉の開閉部の操作でアリーナ内の自然換気ができます。これにより、冷房用のエネルギー消費が抑えられています。

スタンド席を局所空調

アリーナすべての冷暖房では多くのエネルギーが必要なため、スタンド席の足元から冷気・温風を吹き出し、座席周辺に的を絞った局所空調を行っています。さらに、スタンド全体を12に区分した空調ゾーニングにより観客数に応じた冷暖房で省エネルギーを図っています。



すべてのお客さまにやさしい施設を目指しています

主な施設改良工事実績

- 来場者入退場導線の外部照明増設
- エントランス階段拡幅
- 館内ラジオ受信設備設置
- コンコース売店TVモニター増設
- バックネット変更
- ファイターズ用諸室整備
- 水のみ場設置
- チケット売場増設
- コンコースワゴン用電源・給排水設備増設
- 人工芝更新
- コミュニケーションスペース設置
- コンコース照明増設
- コンコースチケットブース設置
- 医務室増設
- バイク駐輪場整備
- メインスタンド改良
- 3Fベビーコーナーに授乳室増設

スタンド階段に手すりを設置

お客さまからの要望に応じて、スタンドの階段に高さ85cmの手すりを設置。安心して階段の昇り降りができるように改良しました。

お子さまも一緒に楽しめるように

お子さまが元気に遊べる大型複合遊具を備えた「キッズパーク」を設置。ご家族で観戦できる「ファミリーシート」も併設しています。



階段の昇り降りが少ない「優し〜と」

お年寄りや妊娠されているお客さま、乳幼児をお連れのお客さまのために、階段の昇り降りが少ない座席「優し〜と」を設置しています。

男女ともに使える授乳室を用意

オムツ交換台や調乳専用の浄水器・温水器付きシンクなどを設置した男女共用スペースと、女性専用の授乳スペースを用意しています。

より見やすく案内サインを一新

館内および敷地内すべての案内サインを、2007年からより見やすいデザインに一新。目的の場所へ簡単に移動できるようにしています。

車いす席の一部を改修

車いすをご利用のお客さまに野球やサッカーをより快適に観戦していただけるように、2008年に車いす席の一部を改修しました。

社会、地域の皆さまへの貢献事業に取り組んでいます

札幌ドームみらいシート

「札幌ドーム みらいシート」は、2008年からスタートした、コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの札幌ドーム開催全試合に、札幌市内の小学3年生を保護者とともに招待するプロジェクトです。プロサッカー・野球の観戦を通して、こどもたちがスポーツへの関心を高め、地域・学校・家族の絆が深まることを期待しています。各試合25組50名を抽選で招待しており、「みらいシート・キッズ」が続々と誕生しています。

自主イベントなどの開催

- おもな自主イベントなどの開催実績
- 2008年5月現在 ※他の主催者様との共同開催のものもございます。
- ・家族であそぼう ふわふわアドベンチャー (2002年より毎年開催)
 - ・札幌ドーム クリスマスフェア (2003年~2005年まで毎年開催)
 - ・ウルトラマニングダム in 札幌ドーム みんなdeスポーツ大作戦!! (2005年開催)
 - ・熱いの広場 ファイターズまつり (2004年より毎年開催)
 - ・Winter Athletic Field~Hirobaで遊んで、学んで~ (2006年より毎年開催)
 - ・特別企画展「コンサドーレ札幌・北海道日本ハムファイターズ優勝記念展」(2007年開催)
 - ・メモリアルコーナー特別企画展 (2007年開催)

Winter Athletic Field~Hirobaで遊んで、学んで~

お子さまたちが遊んで、学んで、楽しく過ごせる体験型のイベントです。札幌ドームの広いアリーナを活用してさまざまなアクティビティを展開し、2007年は紙ヒコーキ教室やオリジナルはがきの手作り体験などのほか、ニュースポーツ「Zorb」や遊具などで体を動かしていただきました。

イルミネーション点灯式

毎年、冬期間にはイルミネーションを点灯しています。2007年はグリーン電力を採用し、点灯式にはコンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズの選手にも参加いただきました。

ENERGY GREEN

イルミネーション電力に採用したグリーン電力とは、風力発電などの自然エネルギーを利用した電力のことです。

特別企画展
コンサドーレ札幌・北海道日本ハムファイターズ優勝記念展

札幌ドームを本拠地とするコンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズ両チームの2007年リーグ優勝を讃えて、優勝記念展を開催。優勝旗やトロフィーなど輝かしい記念品を展示しました。

地域との共生

札幌ドームは、地域とのより良い共生を願って、さまざまな活動に積極的に参加し、「地域の皆さまに貢献できる」施設を目指しています。